

武田克之先生を偲んで

武田先生逝去の報が私に届いたのは10月15日の朝でした。早朝の某国際学会会場で携帯が震え、発信者が皮膚科専門会とわかった時、ただことではないとは感じましたが、あまりにも突如な報でボーゼンとするだけでした。享年89歳、10月に入ってからの突然の変調、入院、悪化、逝去ということで、弟子達は見舞いに何うこともできませんでした。先生の旅立ちには、私の中で未だに決着がついておらず、折にふれ心がざわつきます。

とにかく、医学と言う学問と格闘しながら、徳島大学を強靱にするという偉大な成果を残してこられたのが武田先生でした。巨大な削岩機のような精神と肉体を持った武田先生は、掘るべき土地を自分でさがしてこられた人でした。43歳で医学部教授、56歳で病院長、59歳で医学部長、64歳で大学学長とされましたが、いずれの時代においても、武田先生は力を向ける方向と標的を自ら作り出し、新しいことと格闘し続けた、実は非常に刺激的な人でした。徳島大学卒業生で『徳島大学始まって以来の、医学部ができて以来初めての云々』と言う言葉が、最も頻繁に使われた人物が武田先生でした。圧倒的な努力の結果が成功につながり、その成功体験から導きだされた前向きの自己確信力の塊で、その立ち姿は生涯変わることはありませんでした。

医学指導者としての武田先生は、多くの弟子と一緒に皮膚科と言う土地を耕し続け、教室は四国の皮膚科医師揺籃の場所となっていました。先生からの弟子への期待が凄まじく、弟子のそれぞれが「期待に応える仕事をしたい」との思いを持ち続けており、研究も臨床も面白かったとの思いがあります。肥沃な土地を受け継いだ私達は、いかに良い収穫を得るかを考えればよいことでした。そのような中で、弟子のわれわれは先生の期待に添えたのか、先生の思いを次代に伝えることができたでしょうか、と内心忸怩たる思いでいます。なお先生はオーソドックスな医学ドイツ語を駆使しておられましたが、あまりの早口、流麗すぎる筆跡のため、聞き書きや読解にいささかのこつが必要でした。私が英語圏ではなく、ドイツ語圏への留学を希望した時はわがことのように喜んでくれました。そして留学先の病棟や外来で私の臨床ドイツ語がほぼ通用することに気付いた時、武田先生らから受け取った物の大きさと確かさを実感しました。

とにかく、武田先生は精神的にも肉体的にも大きな人（エリート）で、戦いに絶対負けない人でした。先生は戦いを持ち込むまでの準備がものすごく、特に良好な人的関係の構築と修復には、全てをかけておられました。先生と密な関係を持った人々は多岐に及び、一度で出会った人々は名前呼びかけられ、力強い話に知らず知らずの内に武田シンパになって行きました。厳しいと言われていた学長選も、開けてみれば四面楚歌とは全く逆の全面武田節？が聞こえる中での戦いで、何事もなかったように終息し、平穏に徳島大学学長とされました。学長時代も先生の片方の目は常に蔵本方面に向けられており、私達後輩は花咲か爺さんがまく灰を受け続けました。

私は先生に守られていることにすら気付かず野方図に暮らしてきたため、先生の偉業の数々を、具体的な業績を含めて簡潔に記すことは至難で、皆様方には先生の御略歴から想像していただくほかにありません。身近な者としては、それぞれの事例の背景には、その時代に最高の努力をされ乗り切って行かれた武田先生の剛さがあったと今更ながら実感しています。

武田克之先生のおかげで今の私があると思っている者達を代表し、今まで本当に有難うございましたとの感謝を添えて、謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

平成29年3月23日

徳島大学名誉教授
荒瀬誠治

略 歴



武 田 克 之 (たけだ かつゆき)

昭和2年5月13日－平成28年10月14日 (満89歳没)

元徳島大学長(第9代)

【出 身】 愛媛県

【学 歴】 徳島大学徳島医科大学卒業 (昭和28年3月)
徳島大学徳島医科大学研究科修了 (昭和31年3月)

【職 歴】 徳島大学医学部附属病院助手 (昭和31年4月)
徳島大学医学部附属病院講師 (昭和36年7月)
徳島大学医学部助教授 (昭和38年12月)
徳島大学医学部教授 (昭和45年5月)
徳島大学医学部附属病院長 併任 (昭和58年11月～昭和60年11月)
徳島大学医学部長 併任 (昭和61年4月～昭和63年4月)
徳島大学長就任 (平成3年1月)
徳島大学長退官 (平成9年1月)
徳島大学名誉教授 (平成9年1月)

【専門分野】 皮膚科学

【研究内容】 皮膚生理機能の研究, 皮膚発癌機構と抗癌剤の臨床評価, ステロイド剤の作用・副作用の機序解明, 新ステロイド外用剤の開発, 外用療法の臨床的評価, 発毛・脱毛機序の解明と発毛剤の開発等

【学会活動】 日本皮膚科学会, 日本化学療法学会, 日本乾癬学会, 日本化粧品科学会等の理事長, 理事, 評議員等

【社会活動】 徳島県公安委員会委員長, 徳島家庭裁判所委員会委員, 徳島県国際交流協会理事, 徳島県文化振興基金理事, 徳島県献血推進協議会委員等

【叙 勲】 勲二等旭日重光章 (平成15年春)

【著 書】 『発毛・育毛に何が効くか』 (昭和61年10月, 青春出版社)
『皮膚疾患カラーアトラス』 (平成4年, ライフ・サイエンス出版)
『毛髪医療からの最新報告 発毛・育毛に本当に効く新常識』 (平成14年3月, 青春出版社)
『発毛・育毛に本当に効く新常識』 (平成15年1月, 青春出版社・改訂版)

等多数